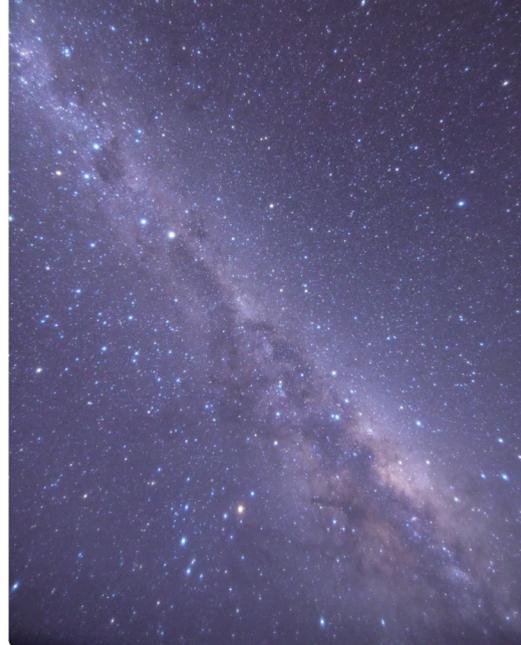
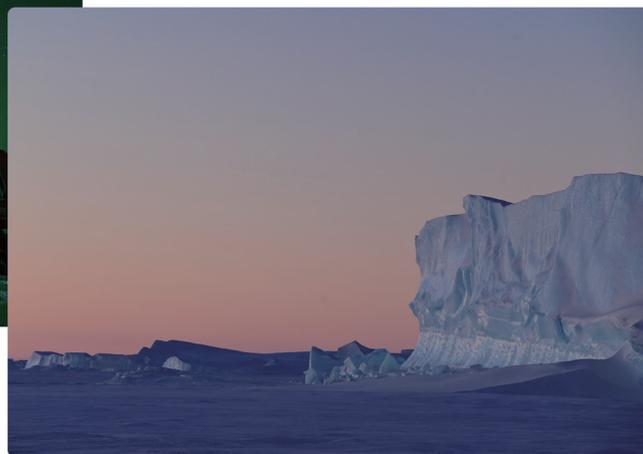


50th 日本小児臨床薬理学会 学術集会



Luncheon Seminar vol.1

オン グ ル
温倶留中央病院
- **南極昭和基地診療所** -



2023.9.30 (土)
12:50-13:50

場所 OIT梅田タワー 常翔ホール 第2会場 (2階 セミナー室 203 & 204)

講師 宮崎 栄治 国立極地研究所 第62次南極地域観測隊 (医療)、静岡厚生病院 小児外科

座長 田中 敏博 静岡厚生病院 小児科

共催：静岡厚生病院、医療法人 社団永仁会 吉永医院、株式会社エバーメディカ、小児薬物療法研究会

オン グ ル 温倶留中央病院 -南極昭和基地診療所-

宮崎 栄治

国立極地研究所 第62次南極地域観測隊（医療）、静岡厚生病院 小児外科

2020年11月から2022年3月まで第62次南極地域観測隊に医療隊員として参加しました。砕氷艦『しらせ』で南極に渡り、日本の観測基地である昭和基地の温倶留（オングル）中央病院という診療所に勤務し、観測隊員の健康管理を行っていました。医療隊員は2名で他にメディカルスタッフはいないので、診療以外にも医薬品や医療材料、検査機器の管理など、日本では医師がやらないような仕事もやらなければなりません。さらに歯科医師もいないので、出発前に歯科研修を受け歯科診療も行いました。空いている時間には他部門の手伝いに駆り出され、観測支援や通信業務、土木作業、発電機や造水装置などの機械の点検、重機を使った除雪作業なども行いました。観測隊に参加するにはショベルカーやブルドーザーなどの重機の免許が必要で、医療隊員も例外ではなく出発前に教習所に通って取得しました。このように日本では医師が絶対しないような体験をたくさんしてきました。

今日は多くの人にとって想像し難い南極という極地での経験をお話します。南極は素晴らしい自然はもちろんですが、まだ人間の手が及んでない調査、観測、研究対象があふれています。地球の過去を知ることができるとても興味深い場所であり、そして温暖化など地球の未来にも関わる重要な場所です。簡単に行くことはできませんが、ぜひ興味を持ってみてください。

略歴

- 1993 順天堂大学医学部附属順天堂医院 外科・小児外科
- 1996 アイルランド 留学
- 1999 聖隷浜松病院 小児外科
- 2002 東京臨海病院 外科
- 2004 静岡県立こども病院 小児外科
- 2007 聖隷浜松病院 小児外科
- 2019 あさか医療センター 外科
- 2020 国立極地研究所 南極観測センター内診療所
- 2022 静岡厚生病院 外科

